

新ホール計画関連

	タイトル	意見等
1	新ホール建設に関して	後藤田知事、日々の県政運営お疲れ様です。 現在、議論が難航している県立ホールの整備計画について、現在の「藍場浜公園案」や「旧石上プラン」の二者択一ではない、徳島の未来を見据えた第3のサードオプション（敷地利用案）を提案いたしたく、筆を執りました。 私は、建設候補地はやはり歴史的にも実績のある「元の徳島文化センター跡地」が最適であると考えます。 しかし、単に元の場所に建てるだけでは、かつて問題だった「立体交差（高架下）の狭く薄暗い歩道を通らなければならない」というアプローチの悪さが解消されません。そこで、線路を挟んで西側に位置する「四国放送・徳島新聞社の旧社屋跡地」をセットで活用することを提案いたします。具体的には以下の通りです。 1. 西側跡地に小ホール、東側（文化センター跡地）に大ホールを配置する。 2. 2つの敷地をJRの線路の上空をまたぐ「空中回廊（連結ブリッジ）」でつなぐ。 このプランには、現在の泥仕合を解消し、徳島の価値を劇的に高める3つの大きなメリットがあります。 【歩行者動線の劇的な改善】 新聞社跡地側をメインエントランスや広場とすることで、徳島駅からホールへの入り口が近くなると同時に、来場者はあの暗く汚い高架下を通ることなく明るく開放的な空中回廊を通して大ホールへワクワクしながら向かうことができます。 【徳島の圧倒的なランドマーク化】 この場所は、京阪神からの高速バスが徳島中心部に入る際に必ず通る「徳島の玄関口」です。バスの車窓から、線路をまたいでそびえ立つ美しいツインタワーのような連結ホールが目に入れば、県外からの来訪者に「文化都市・徳島」を強烈にアピールできます。 【市民の納得とスピード感】 貴重な藍場浜公園の緑地を潰す必要がなく、すでに役割を終えた2つの跡地を利用するため、市民の反発を最小限に抑えられます。 これまでのメンツや過去のプランのぶり返しに囚われるのではなく、徳島駅東側の景観と利便性を一変させるこのような「未来志向のまちづくり」こそ、今求められているのではないのでしょうか。 民間の優れた跡地を活かし、行政の柔軟な発想で「これねら徳島県民が世界に誇れる」というホールを実現していただきたく、ぜひ担当部局にて具体的な検討を行っていただくようお願い申し上げます。
2	プレゼンテーションWEB配信希望	「藍場浜公園西エリア・新ホール整備事業基本・実施設計業務」公募型プロポーザル 二次審査に係る公開プレゼンテーション傍聴者募集 https://www.pref.tokushima.lg.jp/sp/ippanokata/kyoiku/bunka/7314570/?fbclid=IwVERDUAS4aahwZG9mAWZkaWQWUKC9WMdGoM1AN9rTp1bSOmpi-Bta22V4dG4DYWVtATEAc3JOYwZhchBfaWQKNjYyODU2ODM3OQABHvzMq_S8TsVW-i5tBx4EI5wa7ScxCCzgRsJ4Y1g5iyYa6TxVg-sNWvCgVkpOp_aem_CI6I1_3BiDPLLjeRCINtpA 予定があったり、興味があるけど、参加できない人にも試聴の機会が必要

新ホール計画関連

	タイトル	意見等
3	県市職員による海外の城郭保存状況の視察を実施し、徳島城や一宮城の観光に役立ててはどうでしょうか。	現在徳島県内には国史跡徳島城跡や徳島県指定史跡で国史跡指定を目指している一宮城跡等、非常に貴重な城郭が残されています。 旧文化センター跡には徳島城三木郭長御蔵と寺嶋口門台の遺構が発見され、一般社団法人日本考古学協会から国史跡に追加指定するよう要望されています。 また徳島城・一宮城の両本丸には非常に貴重で世界でも珍しい阿波青石の壮麗な石垣が使用されていますが、残念ながら地上からは鬱蒼とした木々に覆われ見ることはできません。 そこで、韓国や欧州への県市職員の城郭保存状況視察を実施し、徳島城や一宮城の適切な保存と観光への活用を進めてはどうでしょうか。 韓国の著名な城郭は、ソウル漢陽都城（ハニヤンドウソン）や世界文化遺産に登録されている水原華城等があります。 特に漢陽都城の城郭は山の稜線に沿って建造されていて地上からよく見えます。 欧州では、徳島に住んだ文人モラエスの出身国ポルトガル・リスボンのサン・ジョルジェ城の城壁が見事で地上の市街地から望むことができます。 ケーブルカーや徒歩で城郭まで行くことができ、約140mの標高の城郭からはリスボン市内やテージョ川の素晴らしい景色が見えます。 また高台にあるスペインのマラガ砦とヒブラルファロ城やイギリスのヨーク城と旧市街周囲を歩くことのできる城壁、ドイツのエーレンブライトシュタイン要塞等は、徳島城や一宮城に似たところもあり観光客誘致にとっても参考になると思います。 国内でも姫路城、大阪城、伊賀上野城では自衛隊が石垣に生える木々の伐採や清掃を実施するなどしています。 徳島城本丸の石垣から伸びる大木は本当に残念ですし、グーグルコメントでも徳島城本丸から景色がよく見えず木を少し切ったらどうかという声が散見されます。 なおホールの旧計画展もあり公益社団法人日本建築家協会が特別協賛していますが、公益社団法人日本考古学協会とは見識が異なるようです。 旧文化センター跡は国史跡とし、それ以外の青少年センター、徳島中央公民館、東警察署跡を車両基地とするのが最良だと思います。 他の目安箱投稿者の方が述べていたように旧ホール計画は藍場浜の新ホール計画の候補の一つになり得るでしょう。 車両基地の地蔵橋駅移転は、県道136号徳島市大谷町付近の犬山踏切や法華第6踏切での渋滞が想定され、文化の森駅のように高架化が必要で車両の移動コストもかかり現実的ではありません。